



Title	Gallia 65号 会員研究活動報告
Author(s)	
Citation	Gallia. 2026, 65, p. 123-129
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/104494
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

会員研究活動報告

(2024年1月1日～12月31日)

エリック・アヴォカ

- 著書
 - ・ «Le moment Aulard, ou les derniers feux des émotions oratoires dans l'historiographie de la Révolution» (共著), in Renaud Bret-Vitoz et Thibaut Julian (dir.), *La Révolution et le théâtre des émotions*, Presses Universitaires Blaise-Pascal, Clermont-Ferrand, juin 2025, p. 301-314.
- 論文
 - ・ Discussion sur le Choix Goncourt du Japon 2025 – Impressions de lecture avant sélection» (日本フランス語フランス文学会, *Cahier* n° 35, mai 2025, p. 25-28)
- ワーク
ショップ
 - ・ Discussion sur le Choix Goncourt du Japon 2026 – Impressions de lecture avant sélection (日本フランス語フランス文学会秋季大会 (SJLLF), 愛知大学 (octobre 2025), コーディネーター・パネリスト)

青木 佑介

- 口頭発表
 - ・ デュラスの批評活動から見える美的関心：エリカ・レナードの写真集 *Les Femmes, les sœurs* に寄せた「あとがき」を中心に (第94回大阪大学フランス語フランス文学会研究会, 於大阪大学, 9月27日)
- 市民講座
 - ・ マルグリット・デュラスについて (於いしばしコモンズ, 6月25日)
 - ・ マルグリット・デュラスの生涯と作品 (於いしばしコモンズ, 10月29日)

足立 和彦

- 共訳
 - ・ ゴラ, モーパッサン, ユイスマンス他『メダンのタベ——戦争と女たち』(足立和彦・安達孝信訳, 幻戯書房〈ルリユール叢書〉, 432 p, 11月)
- 論文
 - ・ 落語の近代化? 三遊亭円朝『名人長二』とモーパッサン (『落語と学問する』, 森本淳生・鈴木亘編, 水声社, p. 41-62, 3月)
 - ・ 日常の語り手——マラルメの見るモーパッサン (『詩人の場所、星々の時間、関西マラルメ研究会二十周年記念論文集』, 坂巻康司・中畑寛之編, 水声社, p. 175-188, 9月)
 - ・ モーパッサン『水の上』、あるいは水の詩学 (*STELLA*, 第44号, 九州大学フランス語フランス文学研究会, p. 219-230, 12月)
- 口頭発表
 - ・ 落語の近代化? ——三遊亭円朝『名人長二』とモーパッサン (人文研アカデミー 2024 シンポジウム「落語と学問する!」, 京都大学人文科学研究所, オンライン参加, 3月20日)
 - ・ Voir l'invisible : le trajet de Maupassant jusqu'au "Horla" (Festival Victor Hugo et égaux 2025 «Victor Hugo et Guy de Maupassant», la Société des Amis de Victor Hugo, à l'Hôtel de ville de Paris, 5月22日)

雑誌記事

- ・Maupassant, conteur dans les journaux (Séminaire «Romans & Romanesques» du CERCLL à l'Université de Picardie Jules Verne, 6月6日)
- ・娼婦と愛国心:『メダンのタベ』におけるセアールとモーパッサン (大阪大学フランス語フランス文学会 第95回研究会, 9月27日)
- ・『メダンのタベ』はどう読まれたか——刊行時の書評を中心に (日本フランス語フランス文学会 2025年度秋季大会ワークショップ『『メダンのタベ』再読——戦争、自然主義、女性の表象』, 愛知大学, 10月26日)
- ・対訳で楽しむモーパッサンの短編 (第46回) (『ふらんす』, 1月号—3月号, 各回6頁, 1-3月)

安藤 麻貴

論文

- ・アトリエ『プチ・ニコラ』(3) ゴシニとサンベによるルポルタージュ (野呂康・安藤麻貴共著, 『フランス文学』 第35号, 日本フランス語フランス文学会中国・四国支部, 121-134頁, 6月)
- ・『星の王子さま』への招待 (『ヨーロッパ言語文化研究』 第43号, 岡山大学ヨーロッパ言語文化研究会, 83-96頁, 10月)

講演

- ・『星の王子さま』への招待 (岡山大学・教育推進機構・外国語教育部門・初修外国語系主催, 2024年度特別公開講座, 岡山大学津島キャンパス, 1月15日)
- ・カミュの小説の変遷とアルジェリア『異邦人』から『最初の人間』へ (広島修道大学「西洋文学」(担当: 杉浦順子氏) 授業内講演, 11月11日)

岩根 久

共編著

- ・『AIを外国語教育で使わない選択肢はもうない』(大木充・小田登志子・岩根久編著, ひつじ書房, 8月 [担当箇所: 第2章「実践1: AIとのはじめの一步」, p. 15-47])

会議録

- ・AIアプリ:初めての授業への導入、どうしたらいいの? (『Rencontres 39』, p. 11-13, 9月)

エッセー

- ・Lien invisible (『花だより、ひとだより—ふみの里から』, 65号, 中村啓佑発行, p. 2, 7月30日)

口頭発表

- ・AIアプリ:初めての授業への導入、どうしたらいいの? (第39回関西フランス語教育研究会, 関西日仏会館 (大阪), 3月27日)
- ・Projet de traduction japonaise des *Amours* (1552) de Ronsard (Table ronde «La transmission de la poésie française du XVI^e siècle au Japon», COLLOQUE INTERNATIONAL “Nouvelles voies des études sur la Renaissance”, FISIER, Sorbonne Université, Amphithéâtre Descartes (Paris / オンライン), 6月13日)

岩村 和泉

- 論文 ・ バルザック『ラ・ラブイユーズ』における語りの技法としての「予弁法 (prolepse)」（『Gallia』64号, 71-79頁, 3月）
- 翻訳 ・ オノレ・ド・バルザック『財布』（『人間喜劇』第一巻, 水声社, 427-458頁, 11月）
- 口頭発表 ・ バルザックにおける共感・ジェンダー・権利—1830年前半の作品を中心に（第124回関西バルザック研究会, 近畿大学, 12月27日）

上江洲 律子

- 論文 ・ マルロー作品における「新しい人間の概念」をめぐる背景についての研究（『沖縄国際大学総合学術研究紀要』, 第26巻1号, 25-35頁, 3月）

柏木 加代子

- 共著 ・ 『磨く松園 視る松篁 誘う淳之』（大垣書店, 2025年）
- 論文 ・ *Flaubert, le Japon et le japonisme. Une étude sur L'Éducation sentimentale* (édition de François Vanoosthuyse : site Flaubert, le 7 juin 2025)
- 報告 『磨く松園 視る松篁 誘う淳之』（大垣書店, 2025）についての書評3件：
 - ・ 飯倉洋一「上村松園・松篁・淳之の画業」（『忘却散人ブログ』, 2025年8月5日）
 - ・ 藤林道夫「京都画壇を代表する日本画家たち—親、子、孫、三人の生きた時代を描く」（『週刊読書人』, 2025年10月31日号）
 - ・ 中村啓祐「特集 秋に読む『磨く松園 視る松篁 誘う淳之』」（『花だより 人だより—ふみの里から』68号, 2025年11月30日）

柏木 隆雄

- 著書・論文 ・ 『本居宣長・春庭・小津久足・小津安二郎—伊勢松阪の知の系譜—』（和泉書院, 268頁, 11月30日）
- ・ バルザック生涯と作品—水声社版バルザック『人間喜劇』の読者のために（バルザック『人間喜劇』第一巻, 水声社, 2025.11.10, p. 803-820）
- ・ 662. 『人間喜劇』総序 解題（バルザック『人間喜劇』第一巻, 水声社, 2025.11.10, p. 793-795）
- ・ 『モDEST・ミニョン』解題（バルザック『人間喜劇』第一巻, 水声社, 2025.11.10, p. 800-801）
- ・ 『アルペール・サヴァリュス』解題（バルザック『人間喜劇』第二巻, 水声社, 2025.12.10, p. 758-760）
- エッセー ・ 鶏肋 思い出の中の先生（『花だより』, n° 60, p. 4-6, 2025.1.14）
- ・ 読者のひろば（『富士』第194号, 富士精版印刷株式会社, p. 32-33, 2025.6.25）
- ・ 読者のひろば（『富士』第195号, 富士精版印刷株式会社, p. 28, 2025.11.7）

- 翻訳
- ・バルザック『人間喜劇』「総序」訳（バルザック『人間喜劇』第一巻，水声社，2025.11.10, p. 25-35 頁）
 - ・バルザック『モデスト・ミニョン』訳（バルザック『人間喜劇』第一巻，水声社，2025.11.10, p. 460-757）
 - ・バルザック『人間喜劇』案内文 訳（バルザック『人間喜劇』第一巻，水声社，2025.11.10, p. 759-760）
 - ・フェリックス・ダヴァン『十九世紀風俗研究』序文 訳（バルザック『人間喜劇』第一巻，水声社，2025.11.10, p. 761-788）
 - ・バルザック『私生活情景』初版序文 訳（バルザック『人間喜劇』第一巻，水声社，2025.11.10, p. 789-790）
 - ・バルザック『私生活情景』初版のノート 訳（バルザック『人間喜劇』第一巻，水声社，2025.11.10, p. 791）
 - ・翻訳『アルペール・サヴァリユス』（バルザック『人間喜劇』第二巻，水声社，2025.12.10, p. 173-304）
- 口頭発表
- ・谷崎潤一郎と上方の美食—『細雪』を中心に—（三重日仏協会・放送大学三重学習センター共催，於三重県総合文化センター文化会館，2025.4.6）
 - ・邦訳バルザック全集の諸問題（合同バルザック研究会，青山学院大学，2025.5.31）
 - ・印刷と文化（富士精版印刷（株）労働組合創立 30 周年記念講演，於TKP 新大阪カンファレンスセンター ホール 4A, 2025.11.19）
 - ・邦訳バルザック全集と水声社版『人間喜劇』刊行の意義について（ワークショップ「『人間喜劇』全訳版刊行プロジェクト始動にあたって」，日本フランス語フランス文学会秋季大会，於愛知大学名古屋キャンパス，2025.11.26）
- 川上 紘史
- 口頭発表
- ・ピエール・ニコル「人間の弱さについて」における「支え」の概念（第十一回フランス近世の〈知脈〉研究会，大阪大学，2月15日）
- 北村 卓
- 編著
- ・『実用フランス語技能検定試験 仏検公式ガイドブック セレクション3級』（フランス語教育振興協会，駿河台出版社，227 p, 2025 年 4 月）
- 小坂 美樹
- 論文
- ・*Le Ramier, un inédit d'André Gide* (*Bulletin des Amis d'André Gide*, n° 227/228, p. 101-113, automne)
 - ・ジッド『サウル』における「女王」—その属性と存在意義（*STELLA*, n° 44, p. 53-67, 12 月）
- 佐藤 久仁子
- 論文
- ・F. モーリヤック『テレーズ・デスケルー』における「匂い」を辿って（『*Gallia*』64 号，153-161 頁，3 月）

高岡 尚子

- 論文 ・『ファンシエット』に見るジョルジュ・サンドの政治参加の特徴とその展開（『Gallia』64号, 91-102頁, 3月）
- 講演 ・ジェンダーで読む物語（和泉市男女共同参画社会づくり講座「モアいずみ塾」, 2月1日）
- ・『ジェンダー』で読む、赤ずきんの物語（和歌山県ジェンダー平等推進センター“りいぶる”語り合い広場, 10月19日）
- ・「名作をジェンダーの視点で読み直す：第1回シャルル・ペロー『赤ずきん』（放送大学リカレント連続講演会, 放送大学奈良学習センター, 11月22日）

高橋 愛

- 共著 ・『ゾラ事典』（小倉孝誠編, 藤原書店, 4月）

寺本 成彦

行事の企画・
開催

- ・東北大学国際文化研究科共催事業：パレスチナ映画祭（『太陽の男たち』『ぼくに見えた道』『ジェニン, ジェニン』）（2025年11月2日, 於 東北大学川内北キャンパス）
- ・東北大学国際文化研究科主催事業：中村梧郎講演会「フランス、アメリカとの独立戦争を乗り越えて—“解放”50周年を迎えたベトナムの現状と課題」（2025年11月5日, 於 東北大学川内北キャンパス）

中村 啓佑

- 論文 ・サーカスにおける pantomime — II. フランコーニ・サーカスとナポレオン（『Gallia』64号, 61-70頁, 3月）

林 千宏

- 共著 ・『実用フランス語技能検定試験 2025 年度版 2 級・準 2 級仏検公式ガイドブック』（フランス語教育振興協会編・発行, 2025 年 4 月）
- 論文 ・【Compte rendu d'un atelier du congrès automnal 2024 de la Société Japonaise de Langue et de Littérature Françaises】Une lecture renouvelée pour une nouvelle traduction japonaise intégrale des *Amours* (1552) de Pierre de Ronsard, «Sur les sonnets 10-13 des *Amours* de 1552 (p. 10-11)» dans *Revue des Amis de Ronsard*, XXXVIII, p. 31-33, p. 71-82, novembre
- 口頭発表 ・「Aspect musical de la traduction japonaise des *Amours* (1552) de Ronsard», dans Table ronde «La Transmission de la poésie française du XVI^e siècle au Japon», Colloque international (10-14 juin 2025) *Nouvelles voies des études sur la Renaissance*, Fédération internationale des sociétés et instituts pour l'étude de la Renaissance, Paris, Sorbonne Université, 13 juin

- ・演奏とセミナー「空、大気と風～ロンサールの詩と音楽～」(於 クレオ大阪中央, 5月3日)

春木 仁孝

論文

- ・「Rue X 構文: 現代フランス語における前置詞を取らない場所名詞について: on est arrivé rue Vaugelas」(『時空と認知の言語学 XIV』, 「言語文化共同研究プロジェクト 2024」, p. 11-20, 大阪大学大学院人文学研究科, web 版, 大阪大学学術情報庫 OUKA: <https://doi.org/10.18910/102273>, 6月)

平光 文乃

論文

- ・ブルースト『囚われの女』ピアノラの場合におけるラモーとボロディン(『人文学林』第2号, 大阪大学大学院人文学研究科, 137-150頁, 3月)

口頭発表

- ・『失われた時を求めて』におけるタピスリー再考(関西ブルースト研究会, 京都大学, 4月)
- ・ベル・エポックの文学と音楽(大阪府北部コミュニティカレッジ, 新大阪ココブラザ, 7月)
- ・ベル・エポックの文学と絵画(大阪府北部コミュニティカレッジ, 新大阪ココブラザ, 9月)

山上 浩嗣

論文

- ・パスカルにおける希望と絶望——アウグスティヌスとモンテーニュの間(『思想』1215号(2025年7月号), 岩波書店, 27-43頁, 6月)

口頭発表

- ・モンテーニュとパスカル——「死」の思想対決(朝日カルチャーセンター新宿教室, オンライン, 2月22日)
- ・「モンテーニュとパスカルの寛容思想」第1回「モンテーニュにおける寛容——他者との共存」、第2回「パスカルにおける寛容——精神の自由」(朝日カルチャーセンター新宿教室, オンライン, 5月10日, 24日)
- ・Espérance et désespoir chez Pascal : entre Augustin et Montaigne (Colloque en hommage à Philippe Sellier : «Lire et interpréter le XVII^e siècle», Sorbonne Université, 12-13 juin)
- ・パスカルにおける sentiment の一側面: 「繊細の精神」から「氣に入られる術」へ(シンポジウム「感性とフランス思想」, 早稲田大学, 2025年7月26日)
- ・モンテーニュ『エッセー』入門——「今日は何もしなかった」(2025年度大阪府北部コミュニティカレッジ短期講座「フランス文化に親しむ」第11回, 10月20日)
- ・パスカル『パンセ』入門——「考える葦」としての人間(2025年度大阪府北部コミュニティカレッジ短期講座「フランス文化に親しむ」第12回, 11月17日)

- ・フランス近代哲学入門 モンテーニュとパスカルについて（三丘セミナー，大阪府立三国丘高校，12月10日）

山本 健二

論文

- ・Procédés de la caricature chez Verlaine républicain — Autour de «La Pucelle» des Vaincus — (『Gallia』64号，115-121頁，3月)

涌井 萌子

論文

- ・『フィエスク伯ジャン＝ルイの陰謀』における理想的人物像：コルネイユとの比較から（『Gallia』64号，3-13頁，3月）

口頭発表

- ・剣とカソックの間で：レ枢機卿の政治・宗教的闘争と「戦う聖職者」の形成（第十一回フランス近世の〈知脈〉研究会，大阪大学，2月16日）
- ・レ枢機卿『メモワール』における自己像の構築 — ソワソン伯の陰謀の記述をめぐって —（2025年度日本フランス語フランス文学会関西支部大会，京都大学，11月29日）

渡辺 貴規子

論文

- ・大正期の少女雑誌『新少女』における西洋の女性の伝記（『大阪大学大学院人文学研究科紀要』第2巻，95-119頁，2025年3月）

口頭発表

- ・Translation of *Sans Famille* in Early 20th Century Japan : On the Source of the Popularity of the Work（国際比較文学会（ICLA）第24回ソウル国際大会，KINTEX（大韓民国），2025年8月1日）
- ・フランス児童文学の歴史①—17・18世紀の寓話・童話」（認定NPO法人大阪府北部コミュニティカレッジ，2025年8月25日）
- ・フランス児童文学の歴史②—近現代の小説をめぐって」（認定NPO法人大阪府北部コミュニティカレッジ，2025年12月15日）